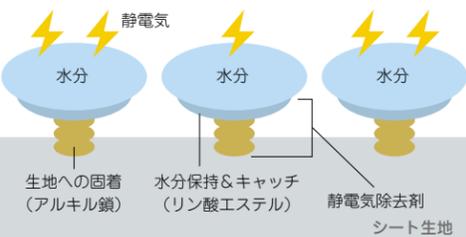


冬の対策はこちらも！ 静電気防止対策



静電気を防ぐメカニズム



静電気除去成分が空気中の水分を保持して、静電気を逃がします

空気が乾燥する時期になると、降車後にドアを閉める際などに発生する静電気。車の場合はシートと衣類の摩擦が主な原因です。静電気対策としておすすめしたいのが「室内静電気除去」の施工。専用の帯電防止剤を座席シートに塗布し、静電気を防ぎます。一度の施工で6ヶ月効果が持続するので、秋の施工でひと冬有効です。

“バチッ”と痛い静電気。降車時の対策グッズがあります



有効成分を吹き付けてシートを加工。除菌成分が水分を保ちます



1本で全席に施工でき、チャイルドシートにも吹き付けられます。

室内静電気除去料金

3,300円(施工費込)

※皮・人工皮革・ビニール・撥水シートには施工できません。降車時の静電気のみにも効果があります。

安全な素材を使用していますのでお子さまにも安心です

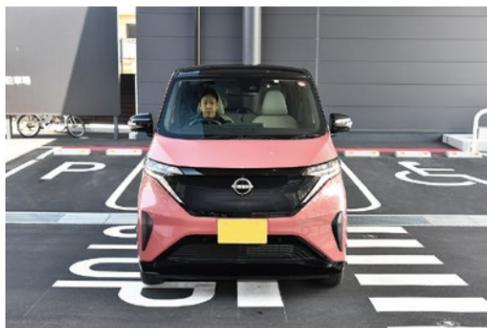


苦手意識をなくそう！ バック駐車のコツ

バック駐車が苦手、白線内にきちんと納まらない。何が悪い方法という声を聞きます。焦らずゆっくりと、こまめな切り返しが基本ですが、広く前方に余裕がある場合は白線に対して前方で車をまっすぐに

持っていきます。あとは、タイヤをまっすぐに、そのまま下がるだけでOKです。また、まっすぐにするスペースがない場合は、内側の後輪を白線の入り口に合わせ、ゆっくりとハンドルを切っていきましょう。

バック駐車時、きちんと入れるちょっとしたコツ



左右のドアミラーに同じ間隔で白線が映るように車を配置するとラクです



目視でドアミラーで確認しながら、後ろの内輪が白線の入り口を目指すようにバックすると入れやすいです

モニターの赤い線がハンドル位置。左が駐車位置からずれていて、右が正しい駐車位置に導いていることがわかります



駐車時の強い味方アラウンドビューモニター。正しく使っていますか？



ソナーが反応して画像だけでなく音でも危険を知らせてくれます



壁などの障害物が近づくと注意信号が黄色→赤色と変わっていき、ぶつかる前に自動停止します

便利なアラウンドビューモニターの使い方



後部だけでなく、真上から四方を映し出してくれるアラウンドビューモニターは駐車の際に大活躍。バックの際はまずは目視とミラーで周囲を確認。その後アラウンドビューモニターの画像を見ながら駐車していきます。画像のほかにもソナーが付いているので、障害物が近づくと警告音でも知らせてくれます。

スタッドレスタイヤ点検や静電気防止対策など 冬到来前のメンテナンス



私たちがご案内します
日産サティオ松本 渚店 池田 景
日産サティオ松本 渚店 サービスマネージャー 高山 雅詩

備えあれば憂いなし。スタッドレスタイヤの事前点検や静電気防止対策など、冬に入る前、秋のうちにしておきたいメンテナンスを紹介。今回は併せて、読者から要望のあった、バック駐車のコツやアラウンドビューモニターの正しい使い方も解説します。

タイヤ交換の前に事前点検をおすすめします



左が古いスタッドレスタイヤ、右が新しいタイヤ。プラットホームと呼ばれる溝の部分が出ていればスタッドレスタイヤとしての機能が働きます

早め早めの対策で信州の冬に備えることが大切です。

スタッドレスタイヤ交換は11月中旬から12月上旬に集中します。その前に事前点検を！

スタッドレスタイヤの交換時にタイヤが使用できないとなった場合は、新しいタイヤの手配などに時間がかかってしまいます。ご自身でプラットホームの溝を確認することもできますが、溝が残っている比較的新しいタイヤでも走行距離や保管方法などで劣化している場合があります。シーズンに入る前のタイヤ点検は重要です。

安心安全のためいくつかの点検項目があります



事前点検では、一目で分かる点検項目から計測器を使うものまで、4つの点検項目(チェックポイント)があります。どのような点検をするのが、ご紹介いたします。



各種しっかりと点検していきます。安心しておまかせください。



- ① タイヤ製造年からの使用年数
タイヤの側面には製造年が分かる刻印があります。まずは何年前のタイヤかをチェック。
- ② 亀裂や損傷の有無
亀裂や損傷のあるタイヤを使っているとバーストなどの危険があります。
- ③ 残溝のチェック
しっかりと溝が残っているか、プラットホームは見えていないかを確認します。
- ④ ゴムの硬度
見た目だけでなく、タイヤのゴムが硬くなっていないか確認します。

タイヤ交換時はもちろん、走行後もチェックしたい空気圧

タイヤ点検時には空気圧も併せて点検します。性能十分なタイヤでも空気圧が低かったり、高すぎたりすると快適な走行ができません。燃費にも影響があり、空気圧不足の場合は異常磨耗が発生、スリップやパンクにもつながります。



点検時に適正な空気圧に調節することによって、タイヤの性能は十分に発揮されます。空気圧の適正値は運転席のドアを開いた場所に表示されています。月に1回はチェックしましょう

長野日産自動車・日産サティオ松本の全店舗で タイヤ無料点検実施中!



タイヤ点検は全店舗、無料で実施しています。タイヤ交換前はもちろん、タイヤを少しこすってしまったときなどの気になる時に来店ください。無料サービスなのでお気軽にどうぞ。